

第213回 (24/Ⅱ期) 群馬県内企業経営動向調査 (ビジネス・サーベイ)

群馬経済研究所 主席研究員 河村英輝
研究員 大井飛知岐

◆調査概要

～業況判断DIは、2期連続でマイナスとなる～

- 2024年4～6月期の県内企業の業況判断DIは「悪化」超幅が縮小したものの、2期連続でマイナスとなった。
- 内訳項目をみると、生産・販売（売上・受注）DIは2期連続でマイナスとなった。製商品（販売）価格DIと原材料（仕入）価格DIは「上昇」超が続いた。また、採算DIは「悪化」超、人員判断DIは「不足」超が続いた。
- 業種別の業況判断DIでは、製造業が△6.9、非製造業が△3.9となり、ともにマイナスが続いた（10頁）。製造業では繊維、木材木製品、窯業土石、金属製品など、非製造業では卸売業、小売業などでマイナスとなった。
- 経営上の問題点では、「原材料費の値上がり」をはじめ、「人件費等経費の増加」「求人難」と回答した企業が半数以上にのぼった（15頁）。
- 2024年7～9月期の業況判断DIは△1.8と、「悪化」超幅が縮小する見通しである。

項目別DI推移

(数字の前の「△」はマイナスを意味する)

年・月期	業況判断	生産・販売 (売上・受注)	製商品 (販売)価格	原材料 (仕入)価格	採 算	設備投資	資金繰り	在庫水準	人員判断
22・1～3	△18.9	△18.1	12.6	61.4	△30.8	△ 5.9	△ 4.2	△ 4.3	△28.4
4～6	△ 7.2	△ 5.8	23.8	74.3	△25.6	△ 7.6	△ 2.3	△ 7.9	△26.8
7～9	△ 6.2	△ 3.2	27.1	71.8	△27.3	△ 8.2	△ 0.2	△ 8.5	△33.2
10～12	2.2	5.0	30.3	69.6	△19.2	△ 5.2	△ 1.9	△ 6.5	△37.0
23・1～3	△10.4	△10.6	24.3	62.7	△24.2	△ 4.5	△ 4.7	△12.3	△35.7
4～6	△ 0.2	△ 1.3	24.4	56.1	△12.0	△ 3.7	0.2	△14.3	△34.9
7～9	△ 5.6	△ 1.8	17.9	51.1	△19.5	△ 0.5	△ 2.6	△14.7	△35.6
10～12	7.5	12.9	20.6	46.3	△ 4.7	△ 0.3	△ 1.8	△11.8	△42.3
24・1～3	△10.3	△12.1	15.7	36.8	△20.8	△ 5.7	△ 1.6	△ 8.8	△37.6
4～6	△ 5.1	△ 9.0	23.6	52.0	△15.9	△ 3.4	0.2	△ 9.5	△36.4
(前 期 比)	(5.2)	(3.1)	(7.9)	(15.2)	(4.9)	(2.3)	(1.8)	(△ 0.7)	(1.2)
(前回予測比)	(△10.4)	(△14.1)	(5.9)	(14.2)	(△ 9.6)	(△ 0.4)	(△ 0.3)	(△ 2.6)	(0.1)
24・7～9見通し	△ 1.8	△ 1.2	16.1	37.6	△ 9.7	△ 5.3	△ 0.9	△ 4.7	△37.1
(前 期 比)	(3.3)	(7.8)	(△ 7.5)	(△14.4)	(6.2)	(△ 1.9)	(△ 1.1)	(4.8)	(△ 0.7)
D I	好転－悪化	増加－減少	上昇－低下	上昇－低下	好転－悪化	増加－減少	余裕－窮屈	不足－過剰	過剰－不足

◆調査要領

1. 調査の目的

群馬県内の景気動向と先行きを予測し、県内主要産業の実態を把握する。

2. 調査対象企業

群馬銀行の取引先を中心に908社

回答社数446社（回答率49.1%）うち製造業188社 非製造業258社

3. 調査方法

記名式で当研究所の指定した項目について、その実績と見通しを記入するよう依頼した。

4. 調査時期

2024年5月上旬～6月上旬

5. 調査対象期間

2024年4～6月期実績、2024年7～9月期見通し（前期比）

◆回答状況

調査回答数

	会社数	構成比 (%)	うち 中小企業	地域別		
				中央部	東 部	その他
製 造 業	188	42.2	181	65	85	38
食 料 品	24	5.4	23	12	8	4
織 維	11	2.5	11	3	7	1
木 材 木 製 品	9	2.0	9	3	2	4
窯 業 土 石	10	2.2	10	2	2	6
電 気 機 器	12	2.7	12	3	7	2
輸 送 機 器	28	6.3	25	9	17	2
金 属 製 品	31	7.0	31	10	15	6
一 般 機 械	16	3.6	16	9	7	0
そ の 他	47	10.5	44	14	20	13
非 製 造 業	258	57.8	233	144	70	44
卸 売 業	53	11.9	51	33	14	6
小 売 業	38	8.5	30	29	7	2
建 設 業	77	17.3	69	39	21	17
サ ー ビ ス 業	90	20.2	83	43	28	19
合 計	446	100.0	414	209	155	82

注1：地域別

中央部…前橋・高崎地域
東 部…桐生・伊勢崎・太田・館林地域
その他…上記以外の地域

注2：中小企業

製造業……資本金3億円以下または
従業員300人以下
卸売業……資本金1億円以下または
従業員100人以下
小売業……資本金5千万円以下または
従業員50人以下
サービス業…資本金5千万円以下または
従業員100人以下

注3：その他の製造業に含まれる業種

パルプ・紙・紙加工品製造業
印刷・同関連業
化学工業
石油製品・石炭製品製造業
プラスチック製品製造業
ゴム製品製造業
その他、他に区分されない製造業

■本文中にあるDIについて

DIは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略であり、企業の業況の判断などを指数化したものである。

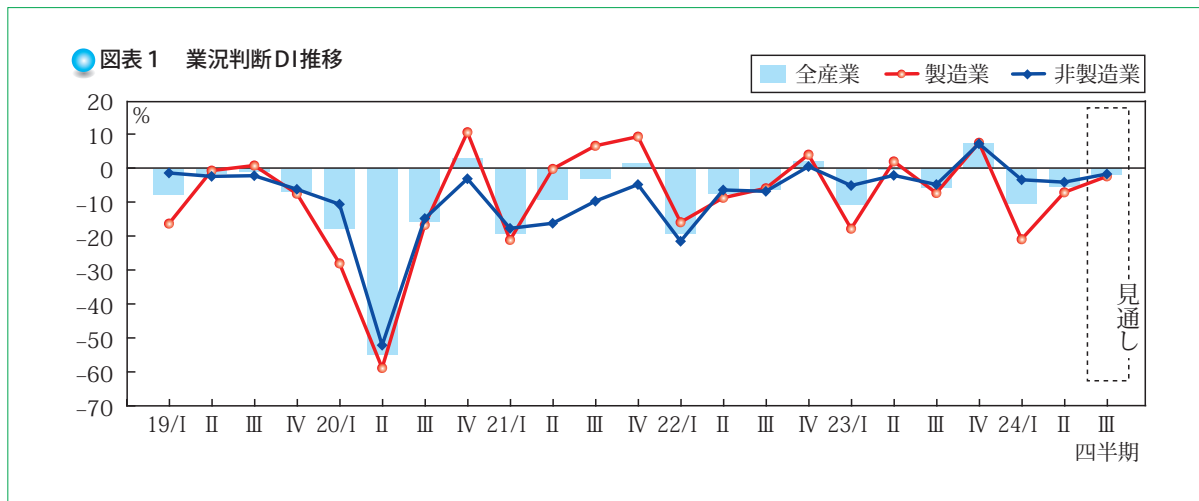
たとえば、企業に業況の良し悪し（業況判断）を聞き、その結果、全体の30%が「良い」、50%が「普通」、20%が「悪い」と答えたとする。この場合、業況判断のDIは「業況が良い企業の割合」から「業況が悪い企業の割合」を引いた数値を指す。つまり、業況判断のDIの求め方は以下のとおりである。

DI値：30(%)－20(%)＝10(%) ※「普通」と回答した「50%」は、DIの計算に含まれない。

業況が良いと回答した企業が多いと、DIはプラスになる。DIがマイナスなら、悪いと回答した企業が多いということである。

1. 自社業況判断

～2期連続でマイナスとなった～



	24/I	24/II (4-6月)		24/III
	実績	前回予測	実績	見通し
好転	11.8	(17.3)	12.4	9.4
変わらず	66.1	(70.7)	70.1	79.4
悪化	22.1	(12.0)	17.5	11.2
全産業DI	△10.3	(5.3)	△5.1	△1.8

製造業DI	△20.7	(14.7)	△6.9	△2.2
食料品	5.3	(10.5)	12.5	8.4
繊維	△33.3	(44.4)	△18.2	△18.2
木材木製品	14.3	(14.3)	△22.2	△11.1
窯業土石	△42.8	(28.6)	△10.0	△10.0
電気機器	△30.8	(7.7)	0.0	8.4
輸送機器	△44.4	(22.2)	0.0	3.6
金属製品	△24.3	(30.3)	△6.4	△3.2
一般機械	△13.4	(△6.7)	0.0	12.5
その他	△12.8	(0.0)	△19.2	△10.6
非製造業DI	△3.2	(△1.2)	△3.9	△1.5
卸売業	△16.0	(2.0)	△9.4	△5.7
小売業	2.5	(△7.5)	△13.2	13.1
建設業	0.0	(△2.6)	△1.3	△6.6
サービス	△1.3	(1.2)	1.1	△1.1

【24年4～6月期】

- 全産業
製造業の「悪化」超幅が縮小したが、全体のDIは2期連続でマイナスとなった。
- 製造業
繊維、木材木製品、窯業土石、金属製品などが「悪化」超であった。
- 非製造業
卸売業、小売業、建設業が「悪化」超であった。このうち小売業は、認証不正による自動車の生産停止の影響を主因として「悪化」超に転じた。

【24年7～9月期】

- 全産業
全体のDIは△1.8と「悪化」超が続く見通し。
- 製造業
繊維、木材木製品、窯業土石、金属製品などで「悪化」超が続き、DIは△2.2となる見通し。
- 非製造業
小売業が「好転」超に転じるも、DIは△1.5と「悪化」超が続く見通し。

2. 項目別動向

(1)生産・販売(売上・受注)

～「減少」超が続く～

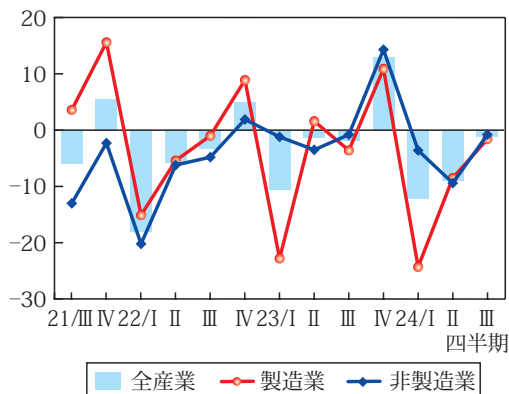
	24/Ⅰ	24/Ⅱ(4-6月)		24/Ⅲ
	実績	前回予測	実績	見通し
増加	14.3	(19.9)	15.1	12.8
横ばい	59.3	(65.3)	60.8	73.2
減少	26.4	(14.8)	24.1	14.0
全産業DI	△12.1	(5.1)	△ 9.0	△1.2
製造業DI	△24.3	(10.1)	△ 8.5	△1.6
食料品	△15.8	(15.8)	25.0	20.9
繊維	△44.5	(33.3)	0.0	△18.2
木材木製品	28.6	(0.0)	△ 11.1	0.0
窯業土石	△28.6	(0.0)	△ 10.0	△10.0
電気機器	△38.4	(7.7)	△ 16.6	0.0
輸送機器	△51.9	(18.5)	0.0	0.0
金属製品	△21.2	(24.3)	△ 19.4	△3.3
一般機械	△20.0	(△20.0)	△ 18.7	6.3
その他	△12.8	(0.0)	△ 19.2	△10.6
非製造業DI	△3.6	(1.6)	△ 9.4	△0.8
卸売業	△22.4	(△8.2)	△ 20.8	△11.4
小売業	2.4	(0.0)	△ 13.2	7.9
建設業	1.4	(4.1)	△ 14.5	1.4
サービス	0.0	(6.2)	3.3	0.0

(2)製商品(販売)価格

～「上昇」超が続く～

	24/Ⅰ	24/Ⅱ(4-6月)		24/Ⅲ
	実績	前回予測	実績	見通し
上昇	19.4	(20.9)	26.4	18.6
横ばい	76.9	(75.9)	70.8	78.9
低下	3.7	(3.2)	2.8	2.5
全産業DI	15.7	(17.7)	23.6	16.1
製造業DI	7.7	(13.7)	15.4	8.0
食料品	21.1	(26.3)	29.1	12.5
繊維	△11.1	(0.0)	0.0	0.0
木材木製品	14.3	(△14.3)	0.0	△11.1
窯業土石	0.0	(0.0)	30.0	20.0
電気機器	23.1	(23.1)	25.0	8.3
輸送機器	0.0	(3.9)	17.8	10.7
金属製品	6.1	(15.2)	3.2	6.5
一般機械	6.6	(13.3)	6.3	6.3
その他	7.7	(20.5)	19.2	8.5
非製造業DI	21.4	(20.5)	30.0	22.3
卸売業	26.6	(28.6)	36.6	28.9
小売業	31.7	(34.1)	34.2	21.0
建設業	22.2	(16.6)	29.7	27.0
サービス	11.7	(11.7)	24.1	14.5

● 図表2-1 生産・販売(売上・受注)DI推移(24/Ⅲは見通し)



【24年4～6月期】

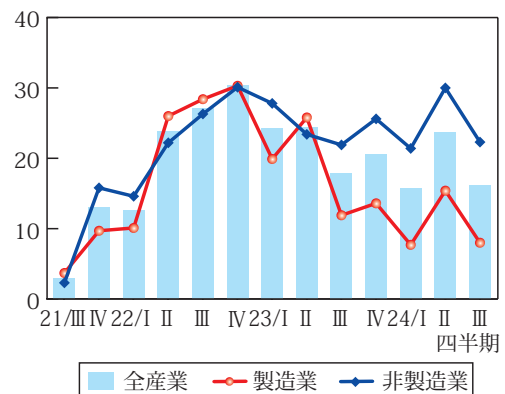
○製造業

自動車の生産再開により、輸送機器の「減少」超幅が大幅に縮小し、全体でも「減少」超幅は縮小した。

○非製造業

小売業、建設業で「減少」超に転じ、全体では「減少」超が続いた。

● 図表2-2 製商品(販売)価格DI推移(24/Ⅲは見通し)



【24年4～6月期】

○製造業

繊維と木材木製品を除くすべての業種で「上昇」超となり、全体でも「上昇」超が続いた。

○非製造業

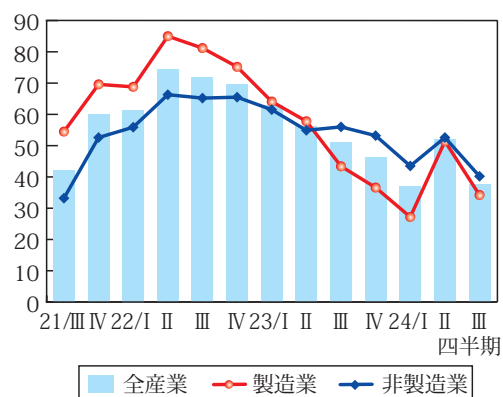
すべての業種で「上昇」超幅が拡大した。

(3)原材料（仕入）価格

～「上昇」超幅が大幅に拡大した～

	24/I	24/II(4-6月)		24/III
	実績	前回予測	実績	見通し
上昇	38.5	(40.0)	53.4	39.2
横ばい	59.8	(57.8)	45.2	59.2
低下	1.7	(2.2)	1.4	1.6
全産業DI	36.8	(37.8)	52.0	37.6
製造業DI	27.2	(31.9)	51.4	34.2
食料品	31.6	(42.1)	50.0	29.2
繊維	77.8	(77.8)	81.8	72.7
木材木製品	14.3	(0.0)	11.1	0.0
窯業土石	28.6	(28.6)	70.0	70.0
電気機器	23.1	(23.1)	83.3	58.3
輸送機器	22.2	(18.5)	35.7	21.4
金属製品	9.1	(24.2)	45.2	25.8
一般機械	40.0	(40.0)	56.3	37.5
その他	30.8	(38.5)	52.1	32.6
非製造業DI	43.5	(41.9)	52.6	40.2
卸売業	40.8	(44.9)	51.9	44.3
小売業	41.5	(39.1)	52.6	39.4
建設業	50.7	(56.1)	56.6	43.4
サービス	39.7	(28.2)	49.4	34.9

● 図表 2-3 原材料(仕入)価格DI推移(24/IIIは見通し)



[24年4～6月期]

○製造業

前期まで「上昇」超幅が縮小する傾向だったが、今期は「上昇」超幅が大幅に拡大した。

○非製造業

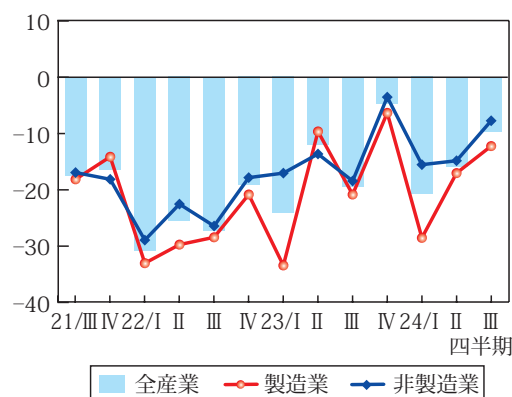
すべての業種で「上昇」超幅が拡大した。

(4)採算

～「悪化」超が続く～

	24/I	24/II(4-6月)		24/III
	実績	前回予測	実績	見通し
好転	7.0	(12.1)	7.2	6.6
変わらず	65.2	(69.5)	69.7	77.1
悪化	27.8	(18.4)	23.1	16.3
全産業DI	△20.8	(△6.3)	△15.9	△9.7
製造業DI	△28.6	(0.0)	△17.1	△12.3
食料品	△22.2	(0.0)	△8.4	0.0
繊維	△55.6	(△33.4)	△30.0	△20.0
木材木製品	0.0	(0.0)	△22.2	△22.2
窯業土石	△28.6	(14.3)	△20.0	△30.0
電気機器	△46.2	(0.0)	△25.0	△16.7
輸送機器	△48.1	(3.7)	△3.5	△7.1
金属製品	△15.1	(15.1)	△12.9	△12.9
一般機械	△20.0	(△13.3)	△31.3	△6.2
その他	△25.6	(△5.1)	△21.3	△14.8
非製造業DI	△15.6	(△10.6)	△14.9	△7.8
卸売業	△26.6	(△8.2)	△18.9	△17.0
小売業	△12.2	(△12.2)	△7.9	5.2
建設業	△16.4	(△15.1)	△19.8	△9.2
サービス	△9.7	(△7.3)	△11.4	△6.8

● 図表 2-4 採算DI推移(24/IIIは見通し)



[24年4～6月期]

○製造業

すべての業種で「悪化」超となったが、全体では「悪化」超幅は縮小した。

○非製造業

すべての業種で「悪化」超が続いた。

(5)設備投資

～「減少」超が続く～

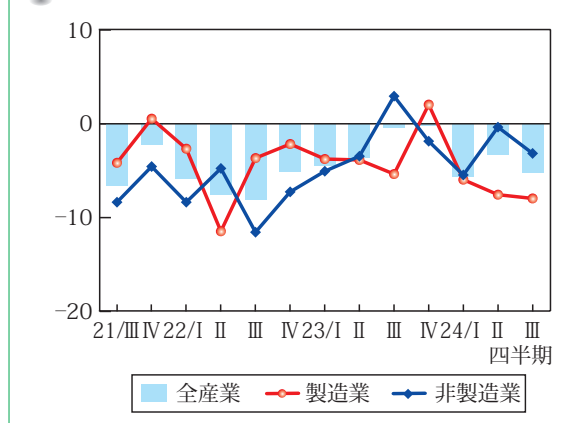
	24/Ⅰ	24/Ⅱ(4-6月)		24/Ⅲ
	実績	前回予測	実績	見通し
増加	9.9	(10.6)	11.5	9.2
横ばい	74.5	(75.8)	73.6	76.3
減少	15.6	(13.6)	14.9	14.5
全産業DI	△5.7	(△3.0)	△3.4	△5.3
製造業DI	△6.0	(△1.8)	△7.6	△8.0
食料品	5.3	(△5.2)	0.0	16.6
繊維	0.0	(△11.1)	△50.0	△30.0
木材木製品	28.6	(△28.6)	△11.1	0.0
窯業土石	16.7	(0.0)	△10.0	△10.0
電気機器	△23.1	(15.4)	8.4	16.7
輸送機器	△27.0	(△3.8)	△7.1	△25.0
金属製品	0.0	(6.2)	3.3	△6.7
一般機械	△33.3	(△40.0)	△37.5	△25.0
その他	2.5	(10.3)	△2.1	△8.5
非製造業DI	△5.5	(△3.8)	△0.4	△3.2
卸売業	0.0	(6.1)	△3.8	0.0
小売業	△5.1	(△2.6)	2.7	7.9
建設業	△12.2	(△8.1)	△5.2	△11.9
サービス	△2.6	(△6.5)	4.8	△2.4

(6)資金繰り

～8割程が「普通」～

	24/Ⅰ	24/Ⅱ(4-6月)		24/Ⅲ
	実績	前回予測	実績	見通し
余裕	10.7	(10.7)	10.8	9.4
普通	77.0	(79.1)	78.6	80.3
窮屈	12.3	(10.2)	10.6	10.3
全産業DI	△1.6	(0.5)	0.2	△0.9
製造業DI	△5.9	(△1.8)	△7.0	△6.5
食料品	△10.5	(△10.5)	0.0	0.0
繊維	△22.2	(△22.2)	△30.0	△30.0
木材木製品	0.0	(0.0)	△22.2	0.0
窯業土石	0.0	(14.3)	△10.0	△10.0
電気機器	23.1	(7.7)	25.0	25.0
輸送機器	△3.7	(0.0)	△7.4	△7.4
金属製品	△20.6	(△14.7)	△19.4	△19.4
一般機械	0.0	(6.6)	△6.2	△6.2
その他	△2.5	(7.7)	△2.1	△4.2
非製造業DI	1.2	(2.1)	5.6	3.2
卸売業	0.0	(0.0)	0.0	△2.0
小売業	2.4	(7.3)	15.8	7.9
建設業	4.1	(2.7)	9.4	5.4
サービス	△1.2	(0.0)	1.2	2.3

● 図表2-5 設備投資DI推移(24/Ⅲは見通し)



【24年4～6月期】

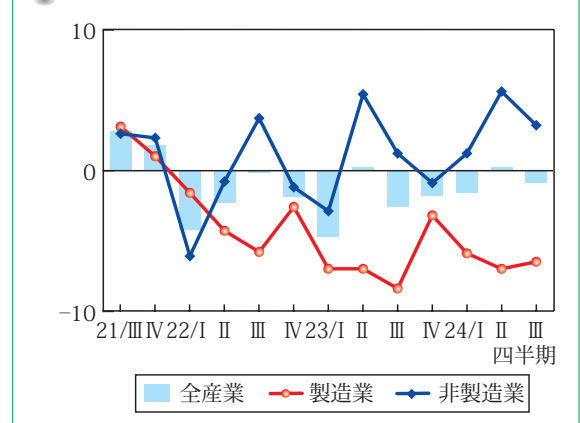
○製造業

繊維と一般機械が大幅な「減少」超となり、全体では「減少」超が続いた。

○非製造業

小売業とサービス業が「増加」超に転じ、全体では「減少」超幅がやや縮小した。

● 図表2-6 資金繰りDI推移(24/Ⅲは見通し)



【24年4～6月期】

○製造業

食料品、電気機器を除くすべての業種で「窮屈」超となり、全体でも「窮屈」超が続いた。

○非製造業

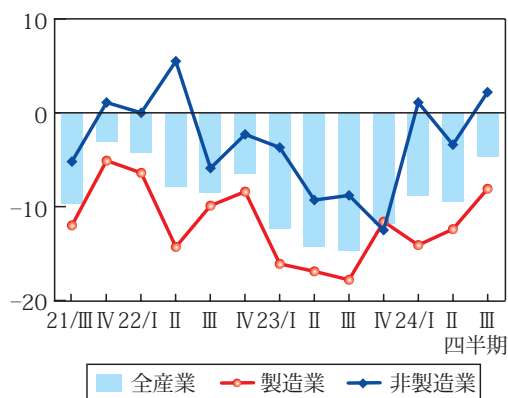
小売業、建設業、サービス業が「余裕」超となり、全体でも「余裕」超が続いた。

(7)在庫水準

～「過剰」超が続く～

	24/I	24/II(4-6月)		24/III
	実績	前回予測	実績	見通し
不足	8.8	(5.7)	5.5	5.5
適正	73.6	(81.7)	79.5	84.3
過剰	17.6	(12.6)	15.0	10.2
全産業DI	△8.8	(△6.9)	△ 9.5	△4.7
製造業DI	△14.1	(△12.3)	△ 12.4	△8.1
食料品	△5.3	(△10.5)	△ 4.1	4.2
繊維	0.0	(0.0)	△ 10.0	△10.0
木材木製品	△14.3	(0.0)	△ 22.2	△22.2
窯業土石	△14.3	(0.0)	△ 20.0	△20.0
電気機器	△30.8	(△46.2)	△ 50.0	△25.0
輸送機器	△22.2	(△14.8)	△ 14.8	△11.1
金属製品	△20.6	(△17.7)	△ 3.3	△3.4
一般機械	△20.0	(△13.3)	△ 25.0	△18.7
その他	△2.6	(△2.5)	△ 4.3	△2.2
非製造業DI	1.1	(3.3)	△ 3.4	2.2
卸売業	△4.0	(0.0)	△ 5.9	0.0
小売業	7.3	(7.3)	0.0	5.3
建設業	0.0	(0.0)	0.0	0.0
サービス	0.0	(0.0)	0.0	0.0

図表 2-7 在庫水準DI推移(24/IIIは見通し)



注)非製造業のうち、建設業、サービス業は対象外

【24年4～6月期】

○製造業

すべての業種で「過剰」超となった。

○非製造業

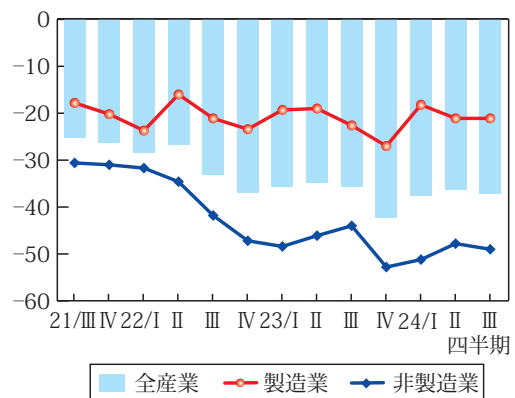
卸売業で「過剰」超が続き、小売業で「不足」超の状態が解消されたことから、全体で「過剰」超に転じた。

(8)人員

～「不足」超が続く～

	24/I	24/II(4-6月)		24/III
	実績	前回予測	実績	見通し
過剰	6.8	(4.8)	6.7	4.4
適正	48.8	(53.9)	50.2	54.1
不足	44.4	(41.3)	△ 43.1	41.5
全産業DI	△37.6	(△36.5)	△ 36.4	△37.1
製造業DI	△18.2	(△19.5)	△ 21.1	△21.1
食料品	△63.1	(△52.6)	△ 37.5	△37.5
繊維	0.0	(△11.1)	△ 30.0	△30.0
木材木製品	△28.6	(△28.6)	△ 22.2	△22.2
窯業土石	△28.6	(△28.6)	△ 30.0	△30.0
電気機器	△7.7	(△30.8)	△ 8.3	△25.0
輸送機器	18.5	(11.1)	7.4	3.7
金属製品	△20.6	(△17.6)	△ 20.0	△23.4
一般機械	△13.4	(△6.7)	△ 25.0	△18.7
その他	△25.6	(△25.6)	△ 27.6	△21.3
非製造業DI	△51.2	(△48.3)	△ 47.8	△49.0
卸売業	△30.0	(△32.0)	△ 31.4	△35.3
小売業	△47.5	(△45.0)	△ 36.8	△31.5
建設業	△71.2	(△65.7)	△ 66.7	△68.0
サービス	△48.2	(△44.4)	△ 46.0	△48.3

図表 2-8 人員DI推移(24/IIIは見通し)



【24年4～6月期】

○製造業

輸送機器を除くすべての業種で「不足」超が続いた。

○非製造業

すべての業種で「不足」超が続いた。深刻な人員不足が続いている。

3. 経営上の問題点

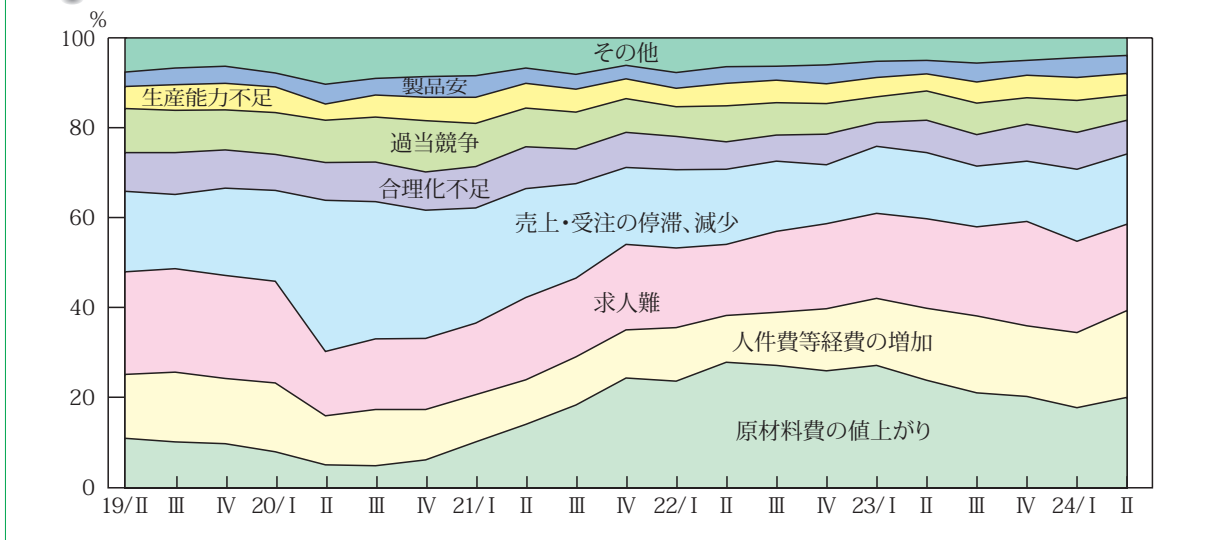
～「原材料費の値上がり」、「人件費等経費の増加」、「求人難」が半数以上～

図表3-1 経営上の問題点

(単位：%)

項目	24年 1～3月期	24年 4～6月期	前期比増減	回答割合の高い業種
原材料費の値上がり	47.6	54.3	6.7	電気機器、窯業土石、食料品
人件費等経費の増加	44.7	52.2	7.5	小売業、食料品、電気機器
求人難	54.4	51.7	△2.7	窯業土石、建設業、サービス業
売上・受注の停滞、減少	42.7	42.0	△0.7	木材木製品、一般機械、電気機器
合理化不足	21.8	20.3	△1.5	食料品、サービス業、輸送機器
過当競争	18.9	15.0	△3.9	繊維、小売業、卸売業
生産能力不足	13.6	12.9	△0.7	建設業、電気機器、その他（製造業）

図表3-2 経営上の問題点(項目ごとの推移)



注：図表3-2の分母は、本項目（問題点）についての回答数（複数回答）合計。

「原材料費の値上がり」が経営上の問題点として最多となった。

次いで、「人件費等経費の増加」、前回最も多かった「求人難」の順となった。原材料価格の高止まりや賃上げなどの影響が顕著に現れた。